プロサッカーの技学ぶ

西区 元日本代表らが教室

サッカー元日本代表やフットサルFリーグアグレミーナ浜松の選手らによる「サッカークリニック」（丸尾興商主催）が13日、浜松市西区の雄踏総合体育館で開かれた。県中西部の小学生約65人がプロの技を学んだ。

講師を務めたのはサッカーの鈴木啓太選手（浦和）＝静岡市清水区出身＝や巻誠一郎選手（東京V）、昨年現役を引退した戸田和幸さんら9人。小学生はドリブルやパスなど基本テクニックの指導を受けた後、ミニゲームに挑戦した。鈴木選手は「スペースを探して」「ボールがほしいとき」はアピールしよう」などとアドバイスした。ゲーム終了後、選手たちはサイン色紙やサッカーボールを子どもたちにプレゼントした。袋井西小6年の泉健君（11）は「巻選手のドリブルが格好よかった。将来はリフティング王になりたい」と話した。

小学生にサイン入りサッカーボールをプレゼントする戸田さん（右から2人目）＝浜松市西区の雄踏総合体育館

▲『静岡新聞』2014年1月14日記事

中日新聞　（第3種郵便物認可）

これぞプロ

パスやドリブル模範プレー

現役Jリーガーら児童指導

クリニックに参加した児童ら

静岡出身の現役Jリーガーらによるサッカークリニックが13日、浜松市西区の雄踏総合体育館で行われ、県内の小学生65人が、プロの技術を体感した。（川住貴）

西区でサッカークリニック

総合商社の丸尾興商（本社袋井市、丸尾高史社長）主催。静岡市清水区出身で、浦和レッズのMF鈴木啓太選手（32）＝元日本代表＝が一昨年、「地元のサッカー少年のためのクリニックを」と、丸尾社長に提案。同社長がクリニックの運営などを請け負い、昨年は島田市で実施した。

鈴木選手をはじめ、元日本代表のFW巻誠一郎選手（33）＝J2東京V、MF楽山孝志選手（33）＝中国・深圳、元日本代表の戸田和幸さん（36）と、Fリーグ・アグレミーナ浜松の5選手が参加。鈴木選手は「元気に明るく、目標をもってサッカーをすることが上達の秘訣」とあいさつ。パスやドリブルの練習では、模範プレーを示しながら、「ボールは自分の近くに置き、取られないことが大事」などと声をかけた。

子どもたちはプロの高い技術に驚きながら基本を繰り返した。浜松市中ノ町小学校5年の馬渕脩君は「プロの当たりは強いし、技術もすごい」と目を輝かせた。

鈴木啓太選手（右）の模範プレーに驚く少年ら＝いずれも浜松市西区の雄踏総合体育館で

“お手本”間近に学ぶ

『中日新聞』2014年1月14日記事 ▲

サッカー教室に参加した子どもたちと笑顔で記念撮影をする浦和MF鈴木（前列中央）

丸尾興商株式会社

レッズ啓太ら豪華メンバー小学生指導

浜松でサッカー教室

「丸尾興商サッカークリニック　2014」が13日、浜松市内で行われ、東海大翔洋出でJ1浦和のMF鈴木啓太（32）や元日本代表で昨季現役を引退した戸田和幸氏（36）、前J2東京VのFW巻誠一郎（33）ら豪華メンバーが参加した。ドリブル練習やミニゲームなど、参加した約65人の小学生を2時間ほど指導。初開催となった昨年から、同クリニックに参加する鈴木は「大好きなサッカーができるのも周りのサポートがあるから。感謝の気持ちを忘れないでください」と、メッセージを送った。

『ニッカンスポーツ』
◀ 2014年1月14日記事